



東っ子便り

令和4年5月25日

第4号

大津町立大津東小学校
校長 太田黒 保宏

低・中学年は“校外学習”を行いました！

低・中学年は、校外学習を行いました。

1年生は生活科「通学路を歩いてみよう」を、2年生は生活科「町探検」を、3・4年生は社会科「地域を見に行こう」を行ない、校区内の「いいね」や「すごい」をたくさん探しました。このような学習は郷土愛の礎となります。今後も大津町の素晴らしさを探していきます。

次回は、高学年の取組をお伝えします。



押しボタン信号を渡る1年生



外牧神社の2年生

子どもに大切な「早寝、早起き、朝ごはん」そして、“読書”

子どもの脳の発達のために、読書は非常に有効だといわれます。これはなぜでしょうか？そこで、ある脳科学コメンテーターのお話を紹介します。



「読書は、海馬に知識の“素”を提供します。海馬は、今日あった出来事を脳の中で再生して、明日への知識を導き出す“脳の知識工場”です。私たちは起きている間の体験や、学んだことは、その場では単なる記憶でしかありません。脳は寝ている間に、知識工場・海馬が繰り返し再生して、後に応用できる知識に替えているのです。… “ユニークな記憶”の素は、ごく普通の日常を過ごしているだけじゃ、なかなか数を増やせない。これを補足してくれるのが読書なのです。」

そして、具体的にはどんな本を読んだらいいのだろう？

「7歳までは、自分と同じ年頃の登場人物や動物など、自己投影できる題材を、読み聞かせや本人の音読を組み合わせてください。8歳から12歳までは、ファンタジーや科学本、海外文学、歴史文学など日常とは違う世界観を味わうと効果的です。」

今回、一つの例として紹介しましたが、子どもたちには多くの本と出会い、豊かな心、創造する力等を養ってほしいと思います。

ちょっと、紹介！

5月20日、ゆうすげの会の西田さんに朝の読み聞かせをしていただきました。コロナ禍のため、リモート開催でしたが、子どもたちは本の世界を楽しんでいました。今後も実施します。



音楽室から配信



リモートで読み聞かせ

学校応援団

31名申込 (R4.5.25 現在) ありがとうございます！

子どもたちのために、無理のない範囲で、楽しんでご協力願います。

“学校運営協議会（コミュニティ・スクール）”を開催！

5月17日に、学校に協力いただく有識者の方をお招きして実施しました。

これは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組みです。子どもや地域の輝く未来を創るためには、学校・家庭・地域の社会総がかりとなる一体的な取組をすすめることが重要です。そこで、よく耳にする“WIN=WIN”の関係を、学校・家庭・地域の全てでバランスを取っていくことが大切です。

今後、定期的を開催して、学校の取組等を協議します。委員の皆様には感謝申し上げます。



座長の吉田熊大名誉教授です



村元委員への委嘱状授与



校長による学校経営の説明

元気に外遊び！

昼休みの運動場は、びっくりするくらい多くの子どもが遊んでいます。ブランコ、鬼ごっこ等、どれも楽しそうです。



この日は、37名遊んでいました

“野菜の苗”

熊本野菜育苗センターの山本さんから、野菜の苗をいただきました。これから食育までつなげます。



校長先生へ贈呈（右：山本さん）

タブレット&電子黒板

3・4年授業ではタブレットと電子黒板を効果的に活用しています。学校情報化優良校として更に推進します。



学びを交流し、深め合う！

“スクールカウンセラー（SC）”の活用！

5月24日付けの「保健だより」には、スクールカウンセラーの活用について記載されています。（※各家庭には、5/6付けで保健室からお知らせも配付いたしました。）

スクールカウンセラー（以下、「SC」という）は、主に学校心理士や臨床心理士等の資格をもった専門家のことです。児童生徒、保護者及び教職員に対する相談、事故における被害児童の心のケア等を行っていただきます。大津町では、どの学校にもSCが定期的に来校され、早期に悩みや不安を解消する取組を行っているところです。

本校には、本年度、向野 彰子（こうの しょうこ）先生に来校いただくこととなりました。

そこで、本校の**少人数という利点**を活かして、**全児童が順番にSCの面談を受けさせよう**と考えています。当然、子どもの発言等の個人情報の保護は、十分に注意して管理いたします。

つきましては、**子どもさんがSCと面談することを希望されない場合は、学校にご連絡のほどお願いします。**

本校の子どもたちは、県や町の学力調査で行うt-check（アンケート）において、家族・友だち・先生の支えがあり「愛されている」と感じる旨回答しています。とても素晴らしいことです。今後も、学校では、子どもの自己肯定感を高め、夢を叶えることができるようにするために、保護者等と連携して悩み等の早期解消を図ります。

SC面談等の流れ

- 1 SCによる全児童の面談の実施
- 2 学校の管理職等の関係者による協議
- 3 本人や保護者の思いを聞き取る
- 4 保護者との連携及び児童への指導・支援体制の充実